

わ

が

街

わ

が

故

郷

日本精工株式会社埼玉工場と 羽生市周辺の紹介

1. 埼玉工場の紹介

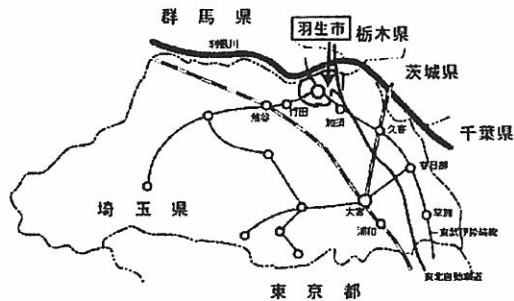
日本精工(株)埼玉工場は、埼玉県^{はちょう}の北部、羽生市大沼工業団地に昭和50年（1975年）6月に産声をあげました。当時は、日本経済を大きく揺るがした第一次オイルショックを乗り越えての、大変な難産での操業開始でした。お蔭様をもちまして昨年、操業30周年を迎えることができました。現在、28万㎡の広大な敷地を有する工場です。円すいころ軸受、ハーフトロイダルCVT、NSKリニアガイド等の製品を生産しております。



日本精工株式会社 埼玉工場全景

2. 羽生市の歴史

羽生市は関東地方のほぼ中央、埼玉県の北東部に位置し、都心から60kmの距離にあり、北は利根川を隔てて群馬県に隣接しています。市域は東西10.25km、南北6.71km、面積58.55km²。主な交通機関は、東武伊勢崎線、秩父鉄道、東北自動車道羽生インターチェンジとなります。



埼玉県羽生市の位置

羽生市は衣料の町として発展し、周囲は農業地帯で肥沃な田園に恵まれています。利根川沿いの羽生のまちは、早くから農耕文化が栄えたところで、古い塚や古墳、出土した埴輪はそのことを証明してくれます。このため羽生の地名は埴輪から転化したものだといわれています。

歴史上、羽生という地名が出てくるのは文明10年（1478年）の太田道灌の手紙に「武州は羽生の嶺に立てこもり」と書かれているのが最初です。その後「羽生城」ができ、支配する領分を羽生領と呼ぶようになり、「羽生」の地名が広まったと考えられます。

徳川時代の小規模な村々49ヶ村は、明治期に入り合併が繰り返され、明治22年（1889年）市町村制施行により1町8村が成立しました。昭和29年（1954年）には羽生町ほか6村が合併し羽生市が誕生、県下16番目でした。その後、昭

和34年（1959年）に千代田村を編入し、現在に至っています。

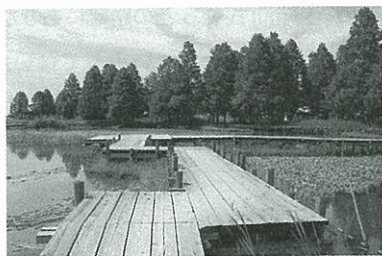


市制施行・市庁舎竣工祝賀で賑わう羽生駅前（1955年）

3. 羽生市の紹介

①羽生水郷公園

田園風景の美しい三田ヶ谷地区にある広大な公園で、約11万㎡の園内には、芝生の丘や水鳥の池、菖蒲田などが整備され、自然観察やバードウォッチングが楽しめます。



また、国内でただ一ヶ所の食虫植物「ムジナモ」の自生地「宝蔵寺沼」もあり、ここは国の天然記念物に指定されています。

ムジナモは根を持たず、水面に浮いたまま生活しています。葉の先は直径1.5から2mmくらい



ムジナモ

の大きさの捕虫器となっており、それがミジンコなどの水生小動物を捕らえます。夏には米粒くらいの白い花をまれに咲かせます。

②県営さいたま水族館

埼玉県内に生息する魚を中心に展示している全国でも珍しい淡水魚の水族館です。ここには県内に生息する87種類の魚のうち、展示可能な70種類余りを展示し、生態や特徴を解説しています。

また、国の天然記念物に指定されている「ミヤコタナゴ」や埼玉県にしか生息しない県の天然記念物に指定されている「ムサシトミヨ」も展示されています。そのほかにも、モクズガニなどの甲殻類、タガメなどの水生昆虫、トウキョウウサンショウウオなどの両生類など、120種、1万点が展示されています。



③スカイフェスタ

スカイスポーツを通して羽生の素晴らしさを味わえる、県内で唯一の熱気球大会です。

全国各地から熱気球約30機が参加し、毎年大勢の人が訪れています。色とりどりのバルーンが大空いっぱいに浮かぶ光景は、まさに羽生の夏の風物詩といったところです。



④スカイスポーツ公園

自然豊かな利根川の堤防に設置された公園です。ローラーすべり台をメインに、つり橋やトランポリン、トンネルを抜けるすべり台などの遊具がたくさんあり、週末にはグライダーの体験搭乗もできますので、どうぞご家族で遊びに来てください。



藍のもととなったアイは食べると苦いので、虫も嫌ってこれを食べようとはしませんでした。そのようなわけで、アイで染めた衣服は虫除けになるとも言われています。

現在、市民プラザには藍工房があります。ここには藍がめが常時設置されていて、いつでも藍染めができるような状態に保たれています。

また、市内ではさまざまな藍染め教室が開かれています。Tシャツやハンカチをいろいろな模様染めて、オリジナルグッズを作ってみるのも楽しいものです。



⑤武州藍染

あおしま
青縞とは木綿を藍で染めた織物のことです。青縞は農家の女性の副業として行われていました。初めは自分たちの衣服を自給するために作られたのですが、農閑期に綿糸を紡いで、紺屋で染めて反物にして市で売るようになりました。主に野良着や手甲、はかま、足袋などに使われ、当時の衣料の80%近くを占めていました。

東京から1時間ちょっとの距離にありながら、緑豊かな羽生へぜひ遊びにいらしてはいかがでしょうか。

(日本精工株式会社 埼玉工場 遠藤 清)